

浜須賀まちのちからニュース

# 浜須賀まちのちから

## 浜須賀地区まちのちから協議会 編集会

発行責任者 青木三郎  
茅ヶ崎市松が丘2丁目8番63号  
TEL 0467 (87) 1101

印刷 仲手川印刷



浜須賀地区  
まちのちから協議会会長  
青木 三郎

浜須賀地区の皆様へ、新しく設立された協議会を代表してご挨拶を申し上げます。

### 「新たな地域コミュニティ」

数年来話題になっていた、茅ヶ崎市の自治は住民が主体であることを定めた茅ヶ崎市自治基本条例が平成22年に成立致しました。その時はあまり関心はありませんでしたが、次第にいろいろ話が広がり、条例に基づく新しい地域コミュニティのモデルとして浜須賀地区にも検討してほしいと言われ



茅ヶ崎市長  
服部 信明

日頃より、本市が行う様々な取り組みに對しまして、格別のご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、浜須賀地区の皆様におかれましては、住みよいまちづくりのため、地区内の諸課題に對して住民や各種団体が協力し合い、自主・自立的な取り組みを進めていただいておりますこと、あらためて敬意を表するものでございます。

これまでも自治会というコミュニティの区域を基盤としながら、各種団体や市民一人一人が協力し合いながらより良いまちづくりを進めてきていただいております。しかしながら、生活様式や生活意識の変化や多様化、少子高齢化などの社会情勢の変化に伴い、地域組織に対する帰属意識の低下も見られ、従来行われてきた活動だけでは対応しきれなくなっていることが見受けられてきました。

## 浜須賀地区を住みよいまちにするために

2、3人の人と相談してまいりました。平成24年7月、市長の応接室に湘南地区、小出地区、松浪地区、そして浜須賀地区の4地区の連合会長や役員が集まり、市長より新たな地域コミュニティのモデル事業への協力の依頼をされました。

### 「浜須賀地区で始動」

浜須賀地区としては、平成24年9月9日に第1回（仮称）まちのちから協議会の設立準備会を、地区から7名の協力を得て発足いたしました。この段階から地域と市が協働して推進していくという中で、市職員が会議に参加してまいります。協議を進める中で、まちのちから協議会ができることと浜須賀会館管理運営委員会との棲み分けができるという点が見えてきました。今までは浜須賀会館を地域活動の拠点として捉え地区全体のことを考えるという

急遽に進む少子高齢化や核家族化、それに伴い生活スタイルの多様化等、これらに對していくにはこれまでの地域活動だけでは限界があります。そうした中、全国的に公共を担う行政と地域が一体となってまちづくりを行う新しい地域コミュニティ制度が設けられつつあり、茅ヶ崎でも茅ヶ崎自治基本条例第25条（コミュニティ）、第26

## 「浜須賀まちのちから」創刊のいきさつ

私たちが生活をしていく中では、クリアしなければならない様々な課題があります。市が行う全市一律の行政サービスにより一定水準での解決を目指す課題のほか、それぞれの地区特有の問題、地区内で解決したほうがより効率的・効果的な結果が得られる課題もあります。自分たちの地区ではどのようなことが喫緊の課題なのか、それらを自分たちの地区に合わせることで解決していくのか、そうしたことが話し合われる場というものが必要となってくるのではないのでしょうか。

茅ヶ崎市では、市民主体による自治の更なる推進を図ることを目的として、平成22年4月に茅ヶ崎自治基本条例を策定いたしました。その25条に「コミュニティ」、26条に「協働」について規定し、市民が公益の増進に取り組みむコミュニティの活動の尊重や市民と市との協働についての考え方を示しております。この規定に根拠を置き、市も必要な支援をさせていたいただきながら、自治会をはじめ様々な団体、出来るだけ多くの住民が参加し協議できる新しい地域のコミュニティでの取り組み

を、ぜひ各地区で展開していただきたいと願っております。浜須賀地区での取り組みとして、自治会をはじめ地区内で活動している各種団体を中心となり、住民の皆様が日ごろ抱えている諸課題を地区全体で共有し、解決の道を探ろうという協議の場である新たな地域コミュニティ「浜須賀地区まちのちから協議会」を市内でも先駆的に設立し、活動を始めていただきました。この協議会には地域担当職員を配置し、市と地区の橋渡しを行い、内容に応じて担当課が協議に加わるなどして課題解決に取り組みます。これにより市と地区がより連携を深めていくことができると考えております。

この管理運営委員会が担ってまいりましたが、行政側の意向は、今後地区全体のことを総括することはまちのちから協議会に代わり、コミュニティセンターの管理運営も地区内の一つの取り組みであると考えられることから、管理運営委員会は「コミュニティセンター」を専門として取り組み機能となることとが理想の形ではないかとのことでした。

次に、浜須賀地区での今後の進め方将来を見据えた計画を立てるべきではないかということや、また困難なことが従来はそれぞれの団体が市に働きかけをしていましたが、新たなコミュニティ制度ではまず地域全体としてそれ

どは市に提案するなど課題を整理しこの地区で最も必要と思われるサービスを考えるようなシステムが出来上がっていくことを願っております。この度、協議会が行う活動の一つとして、浜須賀地区内の様々な情報を一元化した広報紙「浜須賀まちのちから」を創刊し地区住民の皆様へ発信しようという試みは、自分たちの地区のことを住民一人一人が当事者意識を持って考えていただくための一助となるものとして大変有意義なことであり、今後の協議会活動の活性化と浜須賀地区の発展に寄与するものであると期待しております。

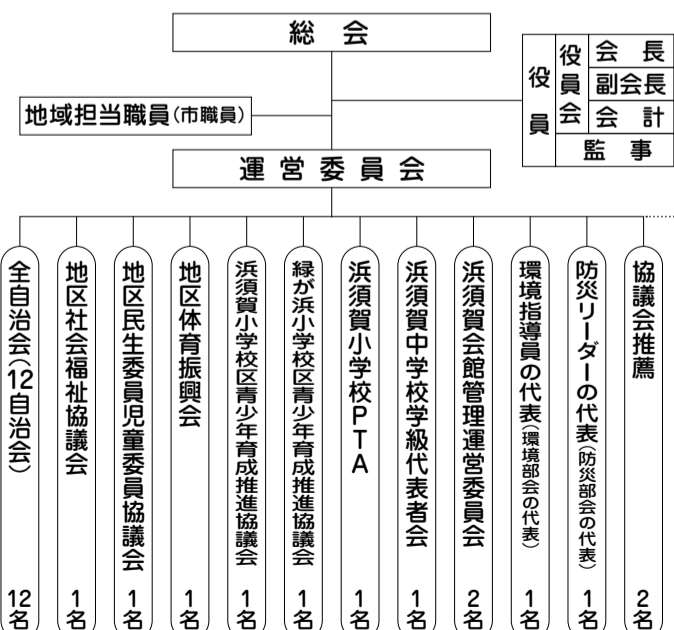
子どもからお年寄りまで、また、得意な分野をお持ちの方もいらっしゃる方もいらっしゃるなど、多種多様な視点で自分たちの地区のために一緒に考えていただける方がいらっしゃることを思います。市民一人一人、各種団体すべてがその地区の力です。こうした浜須賀地区の力を結集し、ますます住みよいまちのちからになりますようご祈念申し上げます。

その団体の課題を共有し、考え方をまとめるから進めていくことを、各団体に理解してもらうことが大事ではないかということが話題に上りました。地区内で活動しているどの団体も、日頃から一生懸命に取り組んでいます。これからより連携することが重要となってきます。そういった様々な視点から名称を決めてはいかかかというところで、浜須賀の力を結集しようという意味を込めまして「浜須賀地区まちのちから協議会」でどうかという提案があり、協議会規約も決まり、平成25年3月9日の設立総会も出席者全員賛成を得て成立しました。そして、25年度の活動に入り最初の取り組みとして7月に市民集会を開催しました。浜須賀会館に自交箱を設置し、箱に入った地域住民の自由な意見や質問を住民と行政が真剣に話し合う場とする

ことが出来ました。「住みよいまちに向けて」浜須賀地区における新たな地域コミュニティの設立に向けて、設立準備会が掲げた目的、

1. 協議の場
  2. まちの力の醸成
  3. 自助、共助、公助のまちづくり
  4. 地域住民主体の市政
  5. 地域住民の生きがいづくり、自己実現の場を創出する
- 等の実現のため、また、規約の第3条に掲げたとおり、協議会は地域における課題解決のための総合的な協議の場として、住みよいまち、社会の構築を目的とし、地域住民、各種団体及び市が一体となり、自主的、主体的に地域活動を行うことを実践するため努力をいたしますので、ご支援、ご鞭撻を願います。

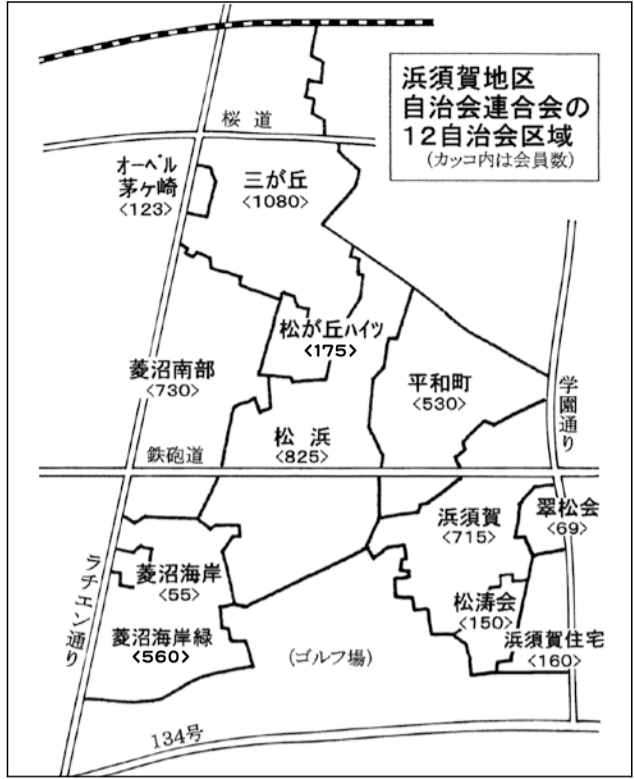
「浜須賀地区まちのちから協議会」は、浜須賀地区を代表する組織として地域課題に對して多角的な視点で解決の道を探っていくべく、地区内で様々な目的を持って活動されている地区住民で組織される各種団体の代表者、協議会委員（現在25名）として議論に加わっていただいております。今後協議会では、出来るだけ多くの住民の皆様に住みよいまちのちからに参画いただけるよう、様々な取り組みを考えてまいります。



※地区住民で組織されている各団体の代表者が委員として参画  
※学校は委員に準じる形で連携

# 浜須賀地区自治会連合会

市民生活の安全・安心を支える縁の下の力持ち



## 浜須賀地区社会福祉協議会

地区社協は【住んでいてよかったまちはますか】のスローガンのもとに、地域の社会福祉の向上に努めております。幼児からお年寄りまで楽しめる事業や、日常困っていることの相談等幅広い福祉活動を行っています。地区社協は来年30周年を迎えます。今までの経験をもとに更に皆様のお役に立つ活動を進めてまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。社協には以下のような行事、支援事業を行っています。

### ■敬老のつどい

毎年9月に77歳以上の方をお招きし健康と長寿のお祝いを行っています。

米寿の方のお祝い、保育園児とのふれあい、余興等が楽しいひと時を過ごしていただいています。

### ■ふれあい昼食会

77歳以上の方をお招きしての昼食会です。地区社協のボランティアグループ

「えにだ会」が料理を担当し、毎回おいしい料理を作っています。

### ■サロンはますか

毎月第2、第4金曜日にお年寄りから幼児までが楽しめる交流の場所として活動しています。折り紙による作品作り、親子でのお遊び、季節の行事等実施、憩いの場所となっています。

### ■サポートはますか

高齢、障害、育児などの日常生活で困った場合にサポートするボランティア活動です。草取り、話相手、買い物、掃除等ちょっとしたことの手助けをおこなっています。

### ■コーディネーター配置事業

市の福祉計画の重点プロジェクトです。地域の様々な生活課題の相談窓口としてサポートはますか、市社協、福祉相談室の各コーディネーターがチームとなって諸団体と協力しながら問題の解決にあたる仕組みです。



「いただきます、(ふれあい昼食会)」



「おめでとうございます、来賓挨拶」

自治会とは私たち住民が生活する地域を基本とし、お互いに協力して住みよきまちをつくるために自主的に組織された団体です。それぞれの自治会は地域の各種行事や活動を通じ、地域内第一歩を踏み出す役割を担っています。

## 浜須賀地区民生委員児童委員協議会

住

茅ヶ崎市内には現在こうした自治会が三三五あり、当浜須賀地区自治会連合会は別図のように十二の自治会から構成されています。全体の会員世帯数は現在、五三〇〇世帯余りを数えます。

地区には一八名の民生委員・児童委員がいて高齢者・障害者・児童を担っています。また二名の主任児童委員は赤ちゃんを含む児童に係わる仕事を担当しています。仕事の内容は次のようになります。

この連合会の関連団体としていくつかの団体があり、連合会はその扇の要の位置から、強力にサポートし、地域の福祉向上や安全・安心のまちづくり

域の福祉向上や安全・安心のまちづくり

「民生委員は妊婦の精神をもつて、常に住民の福祉を第一の事業として、地域防災訓練」があり、今年九月は「おむすび」の行事を行いました。また、今年九月は「おむすび」の行事を行いました。また、今年九月は「おむすび」の行事を行いました。

ま

いの方を対象に相談のり、支援の内容を検討し関係機関に繋ぐという役割です。

個人や世帯の状況、支援の内容を把握するための調査

本人の意思や希望に沿った相談支援

福祉サービスに必要な情報提供

住民の意思や希望を考慮した関係機関との連携

これらの活動は、人権とプライバシーを尊重し、相談者の立場にたって秘密を守ります。

現在行っている主な活動です。

- 小学生の下校時パトロール/夏季夜間パトロール(推進協と協力)
- 小中学生の登下校見守り(自治会と協力)
- ふれあい昼食会への誘いとお手伝い(社協と協力)



通学路登下校時の見守り



新しいベストでパトロール

- 小中学校との懇談会
- 施設見学・研修企画及び参加
- 福祉マップの作成
- 敬老のつどいへの協力
- 会館まつりへの参加
- 在宅高齢者実態調査(三年に一回)

館まつりに参加協力をしています。茅ヶ崎市の大会にも参加し、好成績を挙げられています。

少子高齢化を迎え、心身ともに健康で豊かな生活を送ることが出来るよう「生涯スポーツ」の推進役として、地域の皆様に親しまれる体育振興会を目指して参りたいと思います。

今後とも、地域の皆様の温かいご支援と諸先輩方のご指導、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

### ■事業計画

- ・球技大会 6月15日
- ・納涼祭 7月26日
- ・体育祭 10月5日
- ・茅ヶ崎市民主催の大会への参加 11月16日
- ・高南一周駅伝競走大会 H27年1月12日
- ・地区別親善スポーツ大会 2月15日
- ・ファミリーバドミントン大会 3月1日

● 茅ヶ崎市民主催の大会への参加

● 市民インディアアカ大会 11月16日

● 高南一周駅伝競走大会 H27年1月12日

● 地区別親善スポーツ大会 2月15日

● ファミリーバドミントン大会 3月1日

● 球技大会 6月15日(日) 梅雨の中休み気持ちのよい青空が広がる中、球技大会が浜須賀小学校で開催されました。

大会を盛り上げて下さった参加者及び関係者の皆様、お疲れ様でした。

### 結果

【ソフトボール】

優勝 菱沼南部自治会  
準優勝 浜須賀自治会

【ソフトバレー】

男子 優勝 菱沼海岸緑自治会  
準優勝 松浜自治会  
女子 優勝 平和町自治会  
準優勝 浜須賀自治会

7月26日(土) 浜須賀小学校校庭で納涼祭が開催されました。大勢の皆さんにお越しいただき、盆踊りにハワイアン、模擬店、恒例のアイス配布など楽しい夏の一夜となりました。



盆踊り



球技大会 ソフトボール



球技大会 女子ソフトバレー

### 浜須賀小学校区青少年育成推進協議会

浜須賀小学校区青少年育成推進協議会(浜須賀推進協)は、青少年の健全な成長のために地域社会として取り組むことを目的とし、小学校区を単位として、青少年に関わる団体や地域の人々を中心と組織されています。対象となる青少年は、地域に住んでいる子どもたち全員です。

子どもは「地域の宝」として、そのための生活環境や教育環境を整えることは私たち大人の責務であると考えます。様々な職業・年齢など多様な人が暮らす地域の中で、大人たちが知恵を出し合い、子どもたちを見守り支える地域役割はとても大きなものです。

親や先生以外の大人と知り合い、顔見知りになり、気に掛けてくれるという子どもたちをわがまちが大切にしたい。安心・安全・信頼感を持つことができます。

私たち浜須賀推進協は、地域の大人として子どもたちに積極的に関わることが、地域を担う次世代の人づくり、

### 緑が浜小学校区青少年育成推進協議会

緑が浜小学校の学区は、浜須賀地区と松浪地区の二つの地区で構成されています。現在緑が浜小学校の児童数は375名ですが、浜須賀地区から180名、松浪地区から193名の児童が通っています。

### 浜須賀小学校

今年の教職員のテーマは『想像から創造へ』です。

物事を企画・運営したり、物事を進めたりするときには、イメージを膨らませながら行います。先生方の授業もそれと同じです。子どもたちの様子を見て、学習目標を明らかにして、

まちづくりに繋がるの思いで、子どもたちの安全・安心に関する支援活動をはじめ、豊かな体験・異世代交流の場づくりとしての活動、地域でのパイプ役としての活動など、年間を通して様々な事業を行っています。

### 平成26年度 主な活動計画

- 子どもたちの安全・安心に関する支援見守り強化日パトロール(毎月1回)
- ・夏季夜間パトロール 8月28日
- ・ワンタフル隊
- ・子ども110番の家 協力依頼
- 子どもたちに様々な体験機会・交流の場づくり 関係づくり
- ・子ども料理教室 7月24日
- ・子ども大会「ビーチクリーン」9月27日
- ・浜須賀会館まつり 10月25日

- ・子ども大会「星を観る会」11月28日
- ・浜中OB会 H27年3月

- 地域でのパイプ役
- ・子ども会との連携
- ・推進協広報誌発行
- ・ワンタフル隊通信発行
- ・「子どもの教育」講演会 H27年1月24日
- など



見守りパトロールの様子

### 浜須賀小学校PTA

日頃より、浜須賀小学校PTAの活動にご理解と協力をいただきましてありがとうございます。

浜須賀小学校PTAは、子どもたちの幸せと安全を願い、保護者と教職員がそれぞれの立場で話し合い、協力関係を築きながら交流を深める活動を行っています。体制として、本部・クラス

委員・広報委員会・校外委員会・推薦委員会・スタッフ・サークルがあり、PTAを運営しています。その他に青少年育成推進連絡協議会の方々の下校パトロールや各イベントへの参加、下校時の子どもたちの遊び場となる、はますかプラザの運営などは、地域の方々の協力をいただき活動させていたいております。今現在822名の子どもたちが在籍しています。この子どもたちの学校生活が守られているのも、学校や保護者の力だけでなく、地



保護者が「花スタッフ」として活動しています

域の方のご協力があったことと痛感しております。子育てが難しいと言われる今の時代、たくさんの方と関わる事が子どもたちの成長に大切なことではないかと感じております。

今後とも、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

### 緑が浜小学校

開校14年目の若い学校です。子どもたちは、とても素直です。心を開いてくれます。また屈託のない笑顔でこの素晴らしい環境を自分のものにして生活しています。汐見台と分離後は、開校当初の児童数となり、少人数の課題もありますが、それをメリットに考える教育活動を心がけています。

その他には、地区のパトロール・児童の見守り隊・地域の行事へ協力参加・学校の行事協力・プラザ協力と年間を通して活動しています。

『親子釣り大会』 汐見台小学校区青少年育成協議会と共催で、朝早くから業として「とらとら」というイメージを持つところから始めます。それがあれば、たとえ想定外の方向へ授業が進んでも、すぐに修正することができるからです。そして、授業終了後に反省して、次の授業の構想を練ります。しかし、これではまた過去の授業の再現レベルにすぎません。もっと子どもにとって有意義で楽しい授業にするた



めには、参考に授業を多く参観し、レベルの高い授業を目指す必要があります。そのために昨年度、先生方は多くの研修会・研究会に参加してイメージを広げること努めました。今年度は、そのイメージを実際の授業で実現化していくための年にしていきたいと考えて、このテーマにしました。

試行錯誤しながらの挑戦です。思いやりのこころを大切に

### 浜須賀中学校学級代表者会

浜須賀中学校学級代表者会は、学校と保護者が連携・協力して、浜須賀中学校の教育を進展させることを目的として活動しています。

- (1) 学級から2名ずつ(特別支援学級は1名)選出され、平成26年度は39名の学級代表者と先生方8名(校長・教頭・教務主任・各学年主任・生徒指導担当)で構成されています。
- 年間5回の定例会を持ち、役員会・学年会・全体会を行っています。
- 主な活動内容は次のとおりです。



花ボランティア活動 花苗の植え替え

- (2) 体育祭での自転車整理と整備の手伝い
- (3) 合唱大会での受付、駐車場の手伝い、保護者・職員合唱の参加
- (4) 花の植え替えと水やり(花ボランティア)
- (5) リサイクルバザーの企画・運営
- (6) 子どもを守る地域の会(1名)
- (7) 青少年育成推進協議会の役員(各2名)(浜須賀・松浪・緑が浜)
- (8) 浜須賀会館管理運営委員会委員(1名)
- (9) 子どもを守る地域の会(1名)

### 校章の由来

緑が浜の頭文字のMを、子どもたちを表す若葉で、そして子どもたちを支える地域と保護者・教職員を2本の柱で表現し構成された。

### 浜須賀中学校

浜須賀中学校は現在、1年生241名、2年生213名、3年生200名の特別支援学級13名、全校生徒669名の茅ヶ崎市では一番目の大規模校となりました。明るく素直な生徒が多く、学習や部活動に熱心に取り組んでいます。「心身ともに健やかで、自らの生き方を求め、主体的に行動する生徒」の育成を目標に掲げ、教師が「チーム浜須賀」として全ての教育活動に組織的に取り組む体制をつくり、生徒一人一人を大切に教育を目指します。

- (1) 楽しい学びの場をつくる。
- (2) 事件・事故に対する素早い対応、丁寧な指導

そして、湘南の海と茅ヶ崎のシンボル鳥帽子岩をアレンジし、緑が浜小学校の子どもたちが海と緑に囲まれて、地域と保護者・教職員とともに健やかに伸びてゆくようこの願いが込められている。



(3) 地域行事への積極的な参加

来年度は創立40周年を迎えます。地域の皆さまに見守られ約9000人の卒業生が巣立ち、それぞれの立場で活躍しております。今後とも温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

### 今年のカッチフレーズ

「あこがれの響きをこめて 学校をめざして」

### 校章の由来

「知・徳・体」の調和のとれた発達を目指す教育への思いを込めて、美術科教師がデザインした。

### 今年のカッチフレーズ

『想像から創造へ』

### 校章の由来

白浜の地は、潮なりの高く聞こえる丘の上にある。荒波を、帆のうねりを受けながら航行する帆船のごとく、浜須賀小学校に学ぶ子どもは、大きな夢と希望を胸に帆走してほしいとの願いである。校章は、その荒波をイメージしてつくりだした。

### 今年のカッチフレーズ

「元気の學舎をつくりまじょうー」 ~ Respect & Pride ~

開校14年目の若い学校です。子どもたちは、とても素直です。心を開いてくれます。また屈託のない笑顔でこの素晴らしい環境を自分のものにして生活しています。汐見台と分離後は、開校当初の児童数となり、少人数の課題もありますが、それをメリットに考える教育活動を心がけています。

# 環境部会

平成26年度、「浜須賀地区まちのちから協議会」の中に、地区のきれいな環境づくりについて協議する場として、環境部会が設置されました。各自治会より1名ずつ選任された茅ヶ崎市環境指導員の皆様で構成されています。できるだけ多くの意見を吸い上げるために、地区の全環境指導員にも参加していただくこともあります。これまで、環境に関する地区組織はありませんでしたが、協議会発足後、このようにまずは地区の環境指導員が一堂に会し、顔の見える関係作りから始め、今後地区の環境問題をどのように考えていくかの協議の場が設けられたことは、大変有意義であると同時に、環境指導員の士気も高まるものと思っております。

先刻、部会の会議を行ったところ、ごみ・資源物の排出の管理、ペットの糞尿問題などについて諸問題の課題解決に向けた活発な意見交換がなされました。各環境指導員は自治会区域内での活動が主ではありますが、こういった協議の場を通して、浜須賀地区全体としての課題解決も考えていけるようになることも大切なことだと思っております。

環境部会としては活動が始まったばかりですが、ごみの減量化、資源化の課題のみならず、景観みどり、環境負荷削減など、環境づくりに関して地域の皆様のお困りごとや地区全体として底上げが必要など等にも少しでも寄与できたらと思っております。

きれいで住みやすい浜須賀地区を目指して頑張ってくださいますので、皆様のご協力をお願いします。

# 防災部会

「浜須賀地区まちのちから協議会」では、地域課題の一つである「防災」について専門的・多角的に議論する場として「防災部会」を設置いたしました。各自防防災会（自治会）から防災リーダーや防災担当者を1〜3名選出いただき、部長、あるいは避難所ごとに連絡担当者置くなど、平成26年度から新しい取り組みがスタートいたしました。

（1）地理的に、海に近いため、津波に対する活動が必要となります。

（2）住環境として、木造住宅が密集し、道路が狭く入り組んでいるため火災防止（初期消火の重要性）に対する活動が必要となります。

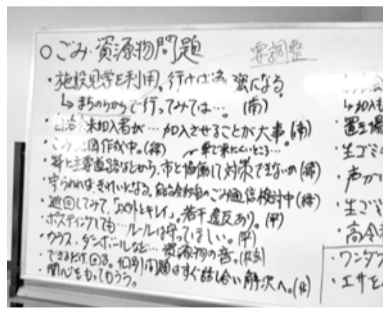
（3）人員構成の高齢化が進んでおり、災害時の高齢者避難活動が必要となります。

○目的  
**「浜須賀地区を「安全で住みよい、災害に強いまちにする」ということ。」**  
 地域住民による自主的な活動に加え、自治会その他、地域の消防団、企業、団体、サークルなどの協力を得、より一層「自分たちの地域は、自分たちで守る」という「共助の精神をもとに自主防災組織を運営する」とことを推進します。

○浜須賀地区の特性  
 「浜須賀地区まちのちから協議会」及び、浜須賀地区自治会連合会の共催で、三校（浜須賀小学校、緑が浜小学校、浜須賀中学校）を会場として、地



6/18に初の部会を開催



区防災訓練を9月20日（土）午前10時から開始します。

## ○防災訓練

防災訓練は、地域の一人ひとりの防災意識を高め、自分と家族の命を守る工夫をするきっかけになります。

また地域全体が、助け合えはもっともっと大きな「まちのちから」になることが分かります。防災部会として、全力を挙げて取り組みますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



防災訓練の様子

# 9/20（土）は地区防災訓練

今年度は「浜須賀地区まちのちから協議会」と地区自治会連合会が共催し、9月20日（土）午前10時から、避難所となる3校（浜須賀小学校、浜須賀中学校、緑が浜小学校）それぞれで地区防災訓練を開催いたします。災害への備え、自助・共助の必要性を改めて地区として認識し、一定の統一感を持って行う中で、今年の訓練はどのような行方か、自主防災会会長や学校、防災リーダーの皆様と協議を進めてまいりました。

今年度は、各避難会場への避難から始まり、「救急救命・AEDの取り扱い」、「消火器訓練」などのほか、実際に学校が避難所となった場合にどの教室がどのように使われるのかなどを確認する「開放教室見学」も取り入れます。また、各会場での特別訓練として、浜須賀小学校では「起震車体験」、浜須賀中学校では「100t水槽放水訓練」、緑が浜小学校では「煙体験」が行われます。その他、避難所として開設することになった場合に備え、自主防災会役員や防災リーダー、市の配備職員による「避難所立ち上げ訓練」も、午前10時の開始に先立ち行います。

住民の皆様への参加につきましましては各自防防災会（各自治会）にて募集をしたり、振り分けをしたりしておりますので、所属の自主防災会（自治会）役員にご確認ください。

# 浜須賀会館管理運営委員会

## 地域活動の拠点 ～愛されて30年～

浜須賀会館は昭和59年、公設民営の地域集会所・高齢者施設（老人憩の家）・図書館分室、これらの複合施設として開設されました。昨年は開設して30年の記念式典を行うことができました。地域の皆様の身近な活動の場所として年間4万人以上の方々が利用されています。

浜須賀地区自治会連合会・各自治会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会・体育振興会・青少年推進協議会など団体、老人会、婦人会、子ども会、カラオケ、合唱団、太極拳、囲碁、フォークダンス、ソーシャルダンス、お母さん同士の育てのグループ、お花、子どもの本を読む会、お習字等々のサークルが登録し利用されています。各サークルは、同じ目的を持った方々が集まり、楽しく元気に利用されています。また、緒団体は地域活動の拠点として会議、会合等々行われています。

その他、茅ヶ崎市の事業として高齢福祉介護課の予防事業の一環として転倒予防教室。これも育成相談課の保健師及び栄養士による乳幼児健康相談など開催されています。尚、利用の皆様には管理上ご面倒な



「恵まれた浜須賀に住む青少年の皆さんに危険や未知のものに自ら挑戦する気概をもたれるように」と創作者の飯塚裕児画伯はこの絵を通して願っておられます。咸臨丸は日本の幕開けと同時に日本人の手によって太平洋を往復航海しました。



浜須賀会館30周年記念絵画  
 山宮絵美里 伊藤弘二 制作  
 「麦畑が広がり、中央に浜須賀会館、飛び立つひばり」  
 という昔の浜須賀の様子をイメージしたものを希望し、描かれたものです。



お願いを多々しております。これは、使用後はきれいに掃除機をかけた利用者が気持ちよく利用出来るよう協力を頂き、「公共の物は大切に」このことを基本として守って頂き、現在までこの精神は続いております。浜須賀会館はこれからも地域の活動の拠点として、また、憩いの場所として地域の皆様に愛を持ってご利用頂けるよう益々貢献していきたいと考えております。

浜須賀会館管理運営委員、事務局員一同よりお願い申し上げます。

# 編集後記

浜須賀地区内の団体の諸活動が、皆様方に解りやすく、また興味を持って見ていただくことが出来まますよう「浜須賀まちのちから」を発行することにいたしました。

地域全体で支え合い、助け合いの仕組みや様々な生活課題を行政と協働で「ひとつ」解決して、「住んでいて良かったまち 浜須賀」を目指し、皆様と共に考えていきたいと思います。

今回は、そうした想いを込めまして、創刊号ということで全戸配布させていただきました。

今後も協議会の取り組みに対してご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

（浜須賀地区まちのちから協議会 古谷・角田）

「まちのちから」ここに集結！